

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号
観 宮城県畜産会
電話 (62-9180)

編集発行人 百井 英一

定価 1部60円

印刷所 K K東北プリント



(大崎西部家畜市場オープン：加美郡宮崎町)

も

生乳の計画生産について

- 一昭和57年度実績と58年度目標について..... 2
- 子牛市場の成績と昭和58年度開設日程について..... 3
- 家畜共済事業の事故発生状況について..... 4
- 飼料用トウモロコシの品種特性..... 6
- 牛の Haemophilus somnus 感染症..... 8
- 養豚一貫経営の田尻町沼部久保養豚場..... 9
- 主な市場における子牛価格.....10
- 畜産物市況の展望.....11
- 随 想.....11
- 昭和57年牛豚枝肉格付状況.....12

宮城県畜産会
 〒980-0001 仙台市青葉区中央
 電話 (022) 232-1111

生乳の計画生産について

—昭和57年度実績と58年度目標について—

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

1. 57年度実績

生乳計画生産導入4年目にあたる57年度の状況は全国的に年度当初より生乳生産が伸び悩んでいたが、57年6月25日、国は生乳需給特に乳製品市況の逼迫状況にかんがみ、加工原料乳計画生産対策資金の用途に関してその中の駄牛淘汰、全乳哺育に対する補助の中止を通知しました。又、中央酪農会議はこれに対し乳製品の輸入の阻止、乳製品の安定供給を図るため出荷調整対策を実施(第3四半期以降)したこと等もあり、第3四半期以降回復の兆しをみせ、年度の受託数量では当初の中央酪農会議の生乳計画生産目標6,238,849tに対し6,343,397tで計画対比101.67%となっております。(昭和58年5月9日現在)

尚、本県の57年度生乳計画生産の実績は計画149,895t(第2四半期以降の全国段階での生乳計画生産完全達成のための割当目標の再調整による追加割当250tを含む)に対し149,446t(全乳哺育数量108tも含む)で計画対比99.7%であり実績対比は104.27%であり57年度生乳計画生産の目標はほぼ達成出来ましたので報告申し上げますと共に県内酪農家の皆様には常日頃のご協力を感謝申し上げます。

2. 58年度の目標について

54年度以来実施して来た生乳計画生産は、酪農家の皆様、関係各位のご努力により需給改善等成果をあげ、かねてからの懸案であった年間過剰在庫が一掃されたのはもとより畜産振興事業団在庫も大半が放出されるまでになったことは既に皆様ご案内の通りです。

しかし、これまでのような過剰解消を主目的とした生産抑制の必要性は薄れたものの依然として需要の伸びを上回る潜在生産力があり、乳価を考える場合、中

長期的な需給動向を充分踏まえながら引続き生乳計画生産を実施していく必要があるということで58年2月10日開催の都道府県指定団体長会議に於いて決定されました。

これを受け本県に於きましても58年3月14日開催の生乳販連理事会で生乳計画生産目標数量が次の通り決定致しましたので、生乳計画生産目標達成につきましてはご協力の程よろしくお願い致します。

会員別生乳計画生産目標

昭和58年度計画生産目標数量は155,158t(前年実績対比103.82%)とする。(小幡)

	A 57年度計画 生産目標	B 58年度計画 生産目標 (A×1.03684)	C 増産量 (B-A)
蔵王酪農	27,740 ^t	28,762 ^t	1,022 ^t
宮城酪農	40,951	42,460	1,509
経済連	26,878	27,868	990
仙台酪農	5,863	6,079	216
県酪連	22,076	22,889	813
栗原酪農	8,080	8,378	298
登米酪農	6,246	6,476	230
本吉酪農	6,538	6,779	241
遠田酪農	2,469	2,560	91
山田酪農	2,804	2,907	103
計	149,645	155,158	5,513

飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (95) 4171~4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事 畜舎工事
さく井工事
ポンプ工事 設計・施工
水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)2461

子牛市場の成績と昭和58年度開設日程について

宮城県畜産農業協同組合連合会

県内の肉用子牛生産頭数が年々増頭し全国でも上位にランクされる生産県に台頭して来ており、本県農業の一支柱として肉用和牛に寄せられる期待は、増大し肉用牛振興の諸施策にも一段と拍車がかかって来ております。然し乍ら、経済不況の長期化や、牛肉貿易自由化要求のエスカレートなど肉用和牛を取囲く諸環境はむしろきびしさを増し、就中、最近の牛価低迷によって楽観を許さない情勢を迎えております。

この情勢下子牛生産頭数は年々20～30%台で順調に伸長し、これに比例して本会関係分の子牛市場における上場頭数も増頭、需給を反映させた適正価格の堅持をするため販路拡大、県外よりの購買者の誘致と市場日程の改正や運営と施設の改善など鋭意努力をしておるところでありここに子牛市場の成績と本年度開設日程について購買の参考に供します。(太田)

昭和57年度県内子牛市場成績調

(県畜連開催及び会員開催分)

市場名 及 開催日	性別	取引 頭数	最高価格 円	最低価格 円	平均価格 円	平均 体重 kg	生体重 kg単価 円	前年度 同期		前年度同 期平均 価格対比
								頭数	平均価格 円	
小野田	牝	542	711,000	51,000	244,555	233	@ 1,048	458	343,105	-98,550
	去	683	492,000	106,000	271,116	255	@ 1,054	510	326,690	-55,574
計(平均)		1,225		259,364	245	@ 1,057	968	334,457		-75,093
宮崎	牝	619	1,311,000	52,000	266,218	235	@ 1,131	530	365,925	-99,707
	去	701	499,000	100,000	283,847	256	@ 1,111	561	350,581	-66,734
計(平均)		1,320		275,580	246	@ 1,120	1,091	358,035		-82,455
佐沼	牝	1,293	752,000	56,000	269,250	254	@ 1,062	1,119	362,400	-83,150
	去	1,682	502,000	68,000	300,593	272	@ 1,105	1,505	342,403	-41,810
計(平均)		2,975		286,971	264	@ 1,087	2,704	346,835		-59,864
築館	牝	1,753	609,000	103,000	268,075	248	@ 1,082	1,415	376,218	-108,143
	去	2,077	513,000	87,000	306,395	269	@ 1,141	1,689	348,764	-42,369
計(平均)		3,830		288,856	259	@ 1,115	3,104	361,280		-72,424
白石	牝	159	360,000	150,000	227,277	224	@ 1,016	135	295,734	-68,457
	去	194	395,000	123,000	253,175	254	@ 997	159	313,194	-60,019
計(平均)		353		241,510	240	@ 1,005	294	304,939		-63,429
川渡	牝	669	601,000	80,000	258,679	249	@ 1,040	623	333,024	-74,345
	去	884	600,000	64,000	283,080	272	@ 1,039	873	336,078	-52,998
計(平均)		1,553		272,569	262	@ 1,039	1,496	334,806		-62,237
小牛田	牝	1,413	640,000	52,000	279,426	253	@ 1,104	1,076	371,752	-92,326
	去	1,748	507,000	109,000	309,329	272	@ 1,137	1,400	343,263	-33,934
計(平均)		3,161		295,962	264	@ 1,123	2,479	355,663		-59,701
計	牝	6,579	1,311,000	51,000	265,470	247	@ 1,076	5,567	357,635	-92,165
	去	8,126	600,000	64,000	295,423	267	@ 1,106	6,854	340,932	-45,509
総計(総平均)		14,705		282,022	258	@ 1,093	12,421	348,418		-66,396

(註) 1. 平均価格、平均体重、kg単価の小数点以下にあたっては四捨五入とす
2. 前年度対比の(+)は高値、(-)は安値を示す

昭和58年度 子牛せり市場開設日程

(宮城県畜連直営及び会員開催分のみ)

開設 年月	開 設 月 日											
	58年 4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	59年 1月	2月	3月	
市場名												
松島				12日 (70)			12日 (70)					12日 (70)
大崎西部		13日 (350)	13日 (350)	10日 (350)	13日 (350)	10日 (300)	13日 (350)	13日 (250)				10日 (450)
亘理		14日 (30)	14日 (30)	14日 (30)	14日 (30)	14日 (30)	14日 (30)	14日 (30)	14日 (30)	14日 (30)	14日 (30)	14日 (30)
佐沼	15日 (300)	15日 (400)	15日 (300)	15日 (300)	15日 (400)	15日 (300)	15日 (400)	15日 (400)	15日 (400)	15日 (400)	15日 (400)	15日 (400)
築館	16日 (300)	16日 (400)	16日 (400)	16日 (400)	16日 (400)	16日 (400)	16日 (400)	16日 (400)	16日 (400)	16日 (400)	16日 (300)	16日 (400)
白石		17日 (60)	17日 (60)	17日 (60)	17日 (60)	17日 (80)	17日 (80)	17日 (80)	17日 (80)	17日 (80)	17日 (80)	17日 (80)
川渡		17日 (250)	17日 (300)	17日 (250)	17日 (300)	17日 (300)	17日 (300)	17日 (250)	17日 (300)	17日 (300)	17日 (300)	17日 (300)
小牛田	18日 (300)	18日 (400)	18日 (400)	18日 (400)	18日 (400)	18日 (400)	18日 (400)	18日 (400)	18日 (400)	18日 (400)	18日 (300)	18日 (400)

- ()内は上場予定頭数です。
- 各市場とも、セリ開始時間は午前10時の予定です。
- 大崎西部市場とは、旧宮崎、小野田合併新市場です。



いつもフレッシュ!!

明治牛乳

明治乳業

発育促進・食欲増進・栄養補給に

バイミルク

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社

家畜共済事業の事故発生状況について

宮城県農業共済組合連合会

3年続きの異常天候による冷害に伴い、家畜にも相当影響している。家畜の飼養形態も多様化していることもあって、年々事故発生が増えているが、最近の厳しい畜産情勢に対処するためにも、家畜の事故を最少限にとどめ、生産コストの低減をはかり安定した畜産

経営が望まれるところである。

ここ数年の家畜共済加入状況は(表1)のとおりで肉用牛の加入は年々増加しているが、乳牛は前年度より220頭減少しているの、関係者皆様のご指導とご協力を賜わり加入推進をはかりたい。

(表-1) 年次別加入頭数及び1頭平均加入金額

年度	乳用牛		肉用牛		馬		計		豚	
	加入頭数	1頭平均	加入頭数	1頭平均	加入頭数	1頭平均	加入頭数	1頭平均	種	豚
52	25,646頭	134千円	51,271頭	169千円	206頭	201千円	77,123頭	158千円	609頭	1,547頭
53	27,275	145	53,698	185	164	250	81,137	172	3,295	2,457
54	27,589	155	57,283	208	157	279	85,029	191	4,591	2,238
55	26,789	161	61,683	227	141	307	88,613	207	5,728	1,785
56	27,065	164	64,751	247	150	364	91,966	223	6,648	900
57	26,845	165	65,993	253	146	366	92,984	228	7,254	1,193
前年比	△ 220	1	1,242	6	△ 4	2	1,018	5	606	293

1. 事故発生状況

近年家畜の飼養形態は多頭化が進んでいるが、家畜の生理に適合しない濃厚飼料多給や畜舎環境不備が目立っている。

死傷事故発生状況は(表2)のとおり年々増加の傾

向をたどっているが、57年度は乳牛の死傷事故が前年度より131頭減少した。その反面肉用牛は前年度より135頭増加し、特に老人貸付対策事業などで導入された繁殖用肉牛の事故が多くなったので、事故防止の指導を強化する必要がある。


(表-2) 年次別死亡廃用頭数及び支払共済金

年度	乳用牛		肉用牛		馬		計			事故率	
	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	支払共済金	1頭平均	頭数	支払額
52	1,031頭	104,849円	1,079頭	127,789円	14頭	164,786円	2,124頭	253,445,242円	119,324円	2.75%	2.09%
53	1,199	117,180	1,298	142,129	18	128,172	2,515	327,290,746	130,135	3.10	2.35
54	1,252	126,897	1,310	142,178	5	134,280	2,567	366,570,114	151,767	3.02	2.26
55	1,281	135,376	1,539	172,405	11	262,499	2,831	441,637,524	156,000	3.19	2.41
56	1,301	142,308	1,546	181,827	11	217,423	2,858	468,639,295	163,974	3.11	2.28
57	1,170	145,553	1,681	186,600	11	225,409	2,862	486,451,085	169,969	3.08	2.37
前年比	△131	3,245	135	4,773	0	7,986	4	17,811,790	5,995	△0.03	0.09

病傷事故発生状況は(表3)のとおりであるが、乳牛は前年度より2,540件減少したが、肉用牛では1,909

件増加し、繁殖障害や肺炎、胃腸炎などが目立って多くなっている。

医薬品総合商社
動物用薬品、器具機材



株式会社 山田仙寿堂

取締役社長 山田修造

本社／仙台市木町通1丁目5番19号
電話／0222(6)3151(大代表)
営業所／古川・石巻・気仙沼・盛岡・水沢・山形・米沢

新製品 — **くみあい配合飼料** —

- *産肉性と肉質向上を目指した
乳雄肥育用 前期・後期
- *新しいバルキータイプ飼料
乳牛16 (バルキー)
- *さらに使いやすくなった子豚用飼料
パワーエース・新若豚育成

農協・宮城県経済連・全農

(表-3) 年次別病傷事故件数及び支払共済金

年度	乳用牛		肉用牛		馬		計			種豚	
	件数	1件平均	件数	1件平均	件数	1件平均	件数	支払共済金	1件平均	件数	1件平均
52	27,148件	6,617円	13,580件	5,244円	190件	5,698円	40,918件	251,962,840円	6,157円	115件	3,311円
53	29,020	7,937	15,316	6,469	176	6,852	44,152	330,641,580	7,428	319	4,123
54	30,713	8,013	18,094	6,362	149	7,107	48,956	362,304,870	7,400	1,112	4,128
55	29,779	8,334	21,502	6,458	123	8,330	51,404	388,073,390	7,549	1,541	4,680
56	29,610	9,378	25,075	7,264	154	8,083	54,839	461,104,140	8,408	2,334	5,696
57	27,070	9,489	26,984	7,228	146	7,876	54,200	453,059,870	8,359	2,697	5,614
前年比	△2,540	111	1,909	△36	△8	△207	△639	△8,044,270	△49	363	△82

2. 疾病別死産事故発生状況

乳房炎、関節炎、第四胃変位、心膜炎、などの発生が

主な疾病別死産事故の発生状況は(表4)に示して多く、肉用牛では鼓脹症、肺炎、尿石症、骨折、脱臼、あるが、乳牛では産前(后)起立不能症、骨折、脱臼、胃腸炎、中毒などの発生が多い。

(表-4の1) 主な疾病別、診療所別死産事故発生状況

乳用牛

疾病別	診療所	白石	角田	名取	大衡	中野田	古川	小牛田	築館	迫	本吉	石巻	計	前年度	増減
加入頭数		5,531	2,821	2,956	675	2,566	2,480	1,018	2,630	2,344	1,139	2,685	26,845	27,065	△220
1 産前(后)起立不能症		25	12	18	7	15	17	3	16	20	9	10	152	162	△10
2 骨折・脱臼		42	7	23	1	15	17	3	7	1	3	10	129	135	△6
3 乳房炎		29	11	11	2	18	9	5	10	6	4	11	116	128	△12
4 関節炎		29	8	5	3	7	6	8	4	5	1	5	81	114	△33
5 第四胃変位		24	8	5	4	3	10	3	8	3	4	6	78	84	△6
6 心臓(のう)炎		12	5	2	—	1	3	6	5	10	1	3	48	59	△11
7 心臓・衰弱		4	2	7	—	3	5	2	4	11	2	4	44	53	△9
その他		91	36	65	13	62	57	23	63	49	9	54	522	566	△44
計		256	89	136	30	124	124	53	117	105	33	103	1,170	1,301	△131
前年対比		△22	△8	△43	△3	△18	△24	9	△5	0	2	△19	△131		
事故発生率(%)		4.6	3.2	4.6	4.4	4.8	5.0	5.2	4.4	4.5	2.9	3.8	4.4	4.8	△0.4

(表-4の2)

肉用牛

疾病別	診療所	白石	角田	名取	大衡	中野田	古川	小牛田	築館	迫	本吉	石巻	計	前年度	増減
加入頭数		5,909	1,682	4,259	4,442	6,427	5,866	7,403	9,076	11,946	1,597	7,386	65,993	64,751	1,242
1 鼓脹症		88	1	21	14	28	25	36	23	28	2	71	337	328	9
2 肺炎		92	2	11	10	19	7	13	24	33	6	61	278	261	17
3 尿石症		29	2	25	3	17	16	15	10	21	1	26	165	143	22
4 骨折・脱臼		38	1	8	5	5	6	14	15	7	4	18	121	96	25
5 胃腸炎・カタル		11	1	3	5	25	3	3	6	13	2	12	74	69	5
6 中毒		23	2	3	4	6	1	5	7	13	1	—	65	59	6
7 心臓・衰弱		3	3	6	2	4	—	—	7	20	2	9	56	54	2
その他		91	12	41	45	39	43	38	66	119	9	82	585	536	49
計		375	24	118	88	133	101	124	158	254	27	279	1,681	1,546	135
前年対比		111	△10	△23	△20	7	3	△6	31	22	9	11	135		
事故発生率(%)		6.3	1.4	2.8	2.0	2.1	1.7	1.7	1.7	2.1	1.7	3.8	2.5	2.4	0.1

3. 事故防止対策

これらの事故低減と飼養管理の改善をはかるため、各地域ごとに関係機関のご協力を得て設置した家畜事故対策協議会が中心となり、事故多発地区、事故多発農家を選定して地域の実態に対応した指導方針をたて、巡回指導を行うことによって成果をあげておりますが、今後も引き続き実施したいのでご指導とご協力をお願いいたします。

この他共済事業としては、家畜特定損害防止事業、家畜防疫車による家畜内外の消毒、削蹄、家畜の保健と予防に必要な薬剤等を交付して事故防止をはかっています。

(家畜課 小野)

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼菰洗1

02202(2)2278~9

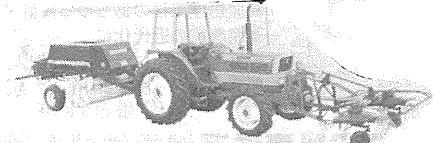
山形営業所 山形市小石川四丁目9~24

0236(23)9909・9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

02293(4)2018~9

WORLD 50嵐



株式会社 五十嵐商会

仙台市卸町五丁目1番地4

電話(0222)96-2525(代表)

<畜試便り>

飼料用トウモロコシの
品種特性

及川 恵寿

はじめに

異常気象が続く中で倒伏に強い多収な飼料用トウモロコシが求められています。しかし新品種の増加が著しいこともあって、多数の品種特性を調査した成績は少ないのが現状です。

昭和57年に飼料用トウモロコシ(以下コーンと略す)34品種を栽培試験し、若干の情報を得たので紹介します。

試験研究方法

表1に示した34品種を、表2に示した耕種概要で1区15㎡3反復して栽培しました。

表1 供試品種

Table with 4 columns: 群 No, 系統番号, 商品名, 百粒重(g). It lists 34 corn varieties grouped into early, middle, and late maturity categories.

注 KD=クミアイデント, G=ゴールドデント, P=パイオニア, SN=スノーデント RD=ロイヤルデント, SI=サイレージコーン, PD=パワーデント, SD=スーパーデント

表2 耕種概要

Table with 8 columns: 播種月日, 栽植密度, 施肥分量 (N, P2O5, K2O), 苦土石灰, 熔燐, 堆厩肥. It details sowing dates and fertilization for early, middle, and late maturity groups.

注 3粒点播1本仕立て

試験結果

主な生育特性・収量調査の結果は表3のとおりです。

1. 絹糸抽出期

早いものと晚いものでは約3週間の差があり、前後作の関連で、品種選択のひとつの指標となろう。

2. 倒伏

台風10号(8月2日)によって少ないもので15%, 多いもので100%倒伏し、品種の差が認められた。

3. 収穫

収穫は子実の登熟状況を観察しながら黄熟期収穫を目標に概ね絹糸抽出後40~50日に行なった。

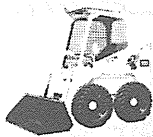
4. 乾物収量

乾物収量は75.5~138.7kg/aと品種により差が認められた。しかし、倒伏・日照不足により全体的に低収であった。

おわりに

紙面の都合で割愛した部分もあり解りにくいかと思いますが、参考になれば幸いです。なおこの試験は昭和60年まで継続の予定です。

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。畜産農家の近代化に作業の省力化に大きく貢献します。豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ディー・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 0222-95-5511~5517

牧場用柵には 強く美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼(株)仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 0277053
販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
仙台市花京院二丁目1 TEL 627771
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL 046221

表3 主な生育特性、収量

群No.	品種名		発芽期	播種後40日草丈	絹糸抽出期	倒伏等(8/3調査)			収穫月/日	生草重	乾物率	乾物重	乾物中雌糖重割合	TDN収量	生育日当り乾物収量
	系統番号	商品名				倒伏率(注)	折損率	折損高							
早	1	MTC-4 マノン	5/21	70.5	8/2	67	49	134	9/16	414.3	26.7	110.6a.b	20.4	70.7	8.0
	2	長交590 タカネワセ	5/19	76.9	8/2	80	72	72	9/6	524.4	22.3	116.2a.b	15.7	72.5	9.1
	3	MFA5104 KD-101	5/21	74.9	8/3	53	51	68	9/20	506.1	24.2	122.6a.b	21.2	78.4	8.6
	4	XL-311 G-901	5/20	64.5	7/24	48	26	102	8/30	378.4	25.6	96.0a.	30.0	63.6	7.9
	5	P-342A P-1号	5/21	79.1	7/31	60	60	96	9/17	471.1	27.7	130.5a.b	15.4	78.0	9.4
	6	XL-32A G-1003	5/20	73.2	8/1	33	20	76	8/18	413.3	26.5	109.4a.b	16.3	68.5N.S	7.8
	7	G-4553 SN-1号	5/22	64.3	8/3	52	39	114	9/18	508.1	26.8	136.0b	24.4	88.0	9.7
生	8	TX-20YA RD-110	5/22	79.5	8/2	68	60	74	9/16	418.2	27.0	113.7a.b	13.4	70.0	8.2
	9	NS-68 SI-早生	5/21	76.4	7/31	22	15	109	9/18	476.7	24.9	119.0a.b	17.4	74.9	8.5
	10	G-4321A SN-A号	5/20	74.7	8/1	38	33	109	9/1	499.7	23.3	116.2a.b	17.5	73.1	9.4
	11	P-3965A P-F号	5/20	80.1	7/23	15	8	103	8/30	443.5	26.2	115.8a.b	26.6	75.7	9.6
	12	P-3732 P-A号	5/21	73.0	7/28	38	35	106	9/1	484.7	22.6	110.2a.b	9.2	66.9	9.0
中	1	TX-120 RD-120	5/22	70.8	8/6	90	88	90	9/27	386.2	26.5	102.2	19.3	64.8a.b	6.9
	2	FRB73×PA91 PD-S125	5/20	61.0	8/10	100	95	89	9/27	346.1	24.1	82.3	22.7	52.5a	5.5
	3	MTC-12 マノン2号	5/20	63.7	8/6	98	93	98	9/27	378.1	23.9	90.7	10.8	55.4a	6.1
	4	MTC-301 ホーブ120	5/21	68.3	8/4	87	69	101	9/24	487.3	19.7	98.9	8.9	60.0a.b	6.8
	5	FRB73×PA21 PD-S120	5/20	63.1	8/6	92	90	101	9/27	440.8	24.5	107.8	15.9	67.5a.b	7.2
	6	PX-77A SI-中生	5/21	68.5	8/7	40	22	61	9/20	545.0	23.7	129.3	26.6	84.5a.b	9.1
	7	NS-1000	5/20	60.2	8/5	82	79	103	9/29	357.1	30.2	107.3N.S	35.4	72.6a.b	7.1
	8	XL-394 G-1103	5/23	64.4	8/10	93	38	57	9/29	480.1	22.7	107.2	19.2	67.9a.b	7.1
	9	TX-115A RD-115	5/20	61.2	8/5	62	55	96	9/20	417.5	28.6	118.4	12.2	72.8a.b	8.3
	10	NS-212 KD-201	5/19	60.4	8/4	67	37	73	9/24	419.9	25.8	108.6	20.1	69.0a.b	7.4
	11	TX-74 SD-2号	5/25	55.2	8/9	73	60	74	9/24	370.2	26.0	96.9	26.0	62.8a.b	6.6
	12	P-3160 P-特2号	5/21	56.8	8/8	68	61	88	9/29	455.1	30.5	138.7	34.2	93.4b	9.2
	13	G-4689 SN-2号	5/22	67.9	8/6	73	16	91	9/27	443.6	27.2	120.8	32.1	80.8a.b	8.1
	14	P-3382 P-2号	5/20	60.7	8/6	98	96	98	9/27	369.0	29.7	109.7	21.8	70.4a.b	7.4
	15	TX-370 TX-370	5/20	58.8	8/7	97	95	94	9/29	388.8	26.0	101.1	34.7	68.0a.b	6.7
	16	FRB73×MS71	5/19	63.8	8/7	15	8	47	9/20	502.3	22.1	111.7	10.3	68.3a.b	7.9
晩	1	GSA-2222 KD-301	5/20	58.6	8/10	92	85	68	10/1	347.2	26.5	91.3a.b	25.0	59.3a.b	6.0
	2	1214 G-1201	5/22	58.9	8/14	88	83	60	10/1	307.7	24.6	75.5a.	24.3	49.4a	4.9
	3	TX-395A G-1202	5/21	60.8	8/11	63	31	76	10/2	403.4	29.0	116.5b.c	32.5	78.0b	7.6
	4	G-4949A SN-3号	5/24	57.7	8/12	85	77	67	10/1	407.9	27.7	112.2b.c	22.6	72.1a.b	7.3
	5	P-3147 P-3号	5/23	58.1	8/11	75	45	62	10/2	333.4	29.2	96.7a.b.c	35.3	65.6a.b	6.3
	6	NS-95 SI-晩生	5/20	61.6	8/10	98	90	58	10/1	462.5	22.1	122.9c	30.0	81.5b	8.0

- 注1. a.b.cはTUKEY'Sの検定, 異文字間にP<0.05で有意差あり (研究第三部 草地飼料科)
 2. TDN収量は新得方式(乾物径乗重×0.582+乾物雌糖重×0.850)による推算値
 3. 無雌糖個体割合には不稔個体割合も加えた。
 4. 倒伏率は挫折十折損の合計

糞尿処理メーカーの糞尿専用

ヒドロボンス

マイティシリーズ
スラリーポンプ
チップポンプ
ノンポンプ
ヒドロスプリング



65B型

ヒドロボンス 発売元

株式会社 東北加藤

〒983 宮城県泉市南光台二丁目22番15号
TEL.0222-74-0781 (代表)

システム農業をクリエイトする

STAR

タフで働きものの

Mr. 3000 牧草梱包
Mr. 2000 稲わら梱包



THB 2000

スター農機株式会社

仙台営業所 983 仙台市福田町2丁目4-20佐正ビル内
0222-58-7301

牛のHaemophilus somnus感染症

石川 勇志

本病は伝染性血栓性髄膜炎などとも呼ばれ、集団飼育牛における主要な疾病で、突然の発熱と運動失調、後肢麻痺、片側性の横臥、昏睡および死を主徴とする疾患であり、病原体はHaemophilus somnus(グラム陰性の小桿菌)である。

本病の発生はGrineら(1956)の報告をはじめに、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、スイス等に広く蔓延している。我国では小泉(1977)の報告に続き、全国的に急速に広がり、宮城県内でも1980年から現在まで35例の発生が確認されている。

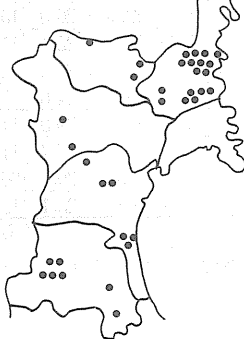
発生状況

主に生後1~3年、体重350~500kgの集団飼育牛に発生するが、放牧牛にもみられる。本病による致死率は極めて高く(95%以上)、また不顕性感染牛も多く存在するようである。本病は臨床的に甚急性(神経)型、急性(呼吸器)型、慢性(関節炎)型とに分類されるが、野外で遭遇するのはほとんどが甚急性型のようなものである。発熱(40~41.5%)、中枢神経障害による種々の神経症状、白血球特に好中球の著明な増加が認められる。

本病の発病機転については不明な点が多いが、不顕性感染牛が呼吸器親和性ウイルスに感染したり、あるいは輸送や飼養環境の変化などのストレスを受けて発病するものと考えられている。

県内における発生状況：1980年8月米山町の第1例にはじまり、1983年4月まで35例が病性鑑定により本病と認定されている(表)が、実際の発生頭数はこの2倍以上に昇っていると推察される。確認された35例

県内のHaemophilus somnus 感染症発生状況



は10ヶ月~3才で、ほとんどが集団肥育されている肥育牛であるが、育成牧場での発生も2件4例にみられている。これらは導入から1~3ヶ月以内に発症し、1~7日の経過の後死亡あるいは廃用とされている。品種・性別による発生の差はないようである。

診断

1.病原学的診断：脳脊髄腔液、血液、脳、肺その他の実質臓器について行う。5~10%血液塞天培地を用い、37℃、5~10%CO₂下で培養することにより最良の発育が得られ円形、辺縁平滑、湿潤で光沢ある径1~1.5mmの黄色を帯びた集落を形成する。分離後は速やかに継代して同定を行う。

2.血清学的診断：加熱死菌を抗原とする試験管凝集試験は診断上参考となる。

3.病理学的診断：中枢神経系の変化が主である。髄膜の充血、肥厚、脳脊髄腔液の増量、脳脊髄には出血を伴った軟化巣が散在する。組織学的には、血栓、血管炎を伴った化膿性脳脊髄膜炎がみられ、肺、腎、肝、心等にも同質の変化がみられる。

4.類症鑑別：灰白質脳軟化症、リステリア症、鉛中毒など。

予防・治療

本病に対するワクチンは現在のところ開発されていない。したがって、予防には誘発因子(呼吸器系ウイルス感染、輸送・飼養環境の急変などによるストレス)の防止・緩和につとめる。導入・輸送前の呼吸器系ウイルス病のワクチン接種や、導入時抗生物質を数日継続して投与することにより、ある程度の予防効果を得られるようである。

Haemophilus somnusはサルファ剤系以外のほとんどの抗生物質に感受性であり、抗生物質による発症早期の治療は有効とされているが、野外では症状が進んだ例に遭遇することが多く、必ずしも十分な効果は得られないようである。

(仙台家畜保健衛生所・病生鑑定課)

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

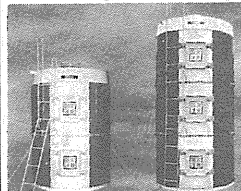
小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5
TEL 0198 264151(代)

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1
TEL 02292 33888(代)

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所

※ 肉用牛の飼養には是非サイレージを
※ 信頼性の高いステンレス気密サイロ



オリオン ミニスター

OSM-10 10m³
OSM-15 15m³

オリオン機械株式会社

仙台営業所 仙台市六丁目 TEL 94-0691代
仙北出張所 築館町字久伝 TEL 2-9242
仙南出張所 大河原町幸町 TEL 3-3355

養豚一貫経営の田尻町沼部 久保養豚場

古川家畜保健衛生所

近年における経済低成長のもとにおいてはかつてのような高い畜産物需要の伸びは到低期待されなだけでに経営内容をじっくり見直し無駄をなくし生産コストを少なからず安くして利益をあげる工夫が大切である。ここでは宮城県畜産会主催のもとに昭和58年2月23日に開催された宮城県優良畜産経営技術発表会において最優秀賞を獲得し全国発表会に選出された遠田郡田尻町の養豚場の経営内容等について紹介したい。

1. 地域の概要と規模拡大への歩み

田尻町は当管内大崎耕土のやや東部に位置し農業経営も稲作プラス畜産の経営が多く中でも養豚がその大半を占め殆んどが子豚生産農家である。最近の子豚生産から一貫経営による肉豚生産へ、配合飼料一辺倒から自家配合、転作による飼料作物利用へと移りつつある状況にある。当養豚場も昭和54年頃までは稲作主体の中から少頭数の母豚による子豚生産を行ってきたが地域の特性・立地条件等から家族で話し合い養豚部門の規模拡大を計画し安定した複合経営の確立を目指して後継者が県内養豚場における畜産技術留学研修により経営技術の修得を図った。

2. ヤング・ピック・サークル(Y.P.C)の活動

町内の24才から26才でやる気のある若い後継者8名で昭和53年4月に結成し養豚技術の向上を目的に活動を行っていることも特色でありこのサークルの主な活動内容は月1回会員宅持廻りの定例会、各自出荷肉豚の一部を枝肉カットして種豚、飼養管理等の相互検討、肉豚の共同出荷、機械、資材等の共同購入、利用、年1及至2回の先進地研修、等を実施している。

3. 経営の推移

年次	経営の推移
S54.4~	就農、養豚部門の拡大(一貫経営)を進め沼部地区新農業構造改善事業(単独融資)650万円借入れにより、肥育豚舎建設、施設の拡充、種豚導入を行った(種雄豚1頭、繁殖育成豚10頭)。
S55.~	本格的に経営開始(種雄豚1頭、繁殖母豚15頭)
S56.~	転作作物として、デントコーン、イタリアンライグラスを作付けしサイレージにして、冬季から春先の緑餌による飼料作物利用による飼料費節減に努める。
S57.2~	生産コストの低減と自分に合った豚作りを目的にこれ迄の配合飼料から自家配に切り換えた。

4. 経営の概要

農業従事者(労働能力)	本人24才(1.0)	父 47才(1.0)	母 47才(0.8)	家族人数	7人
労働配分	稲作	父(本人、母)			
	養豚	本人			
	畑作	母(父)			

経営耕地面積	水田	400a	転作 38a
	飼料畑	28a	自作,デントコーン,ライ麦
	"	90a	借地 4人共同
	普通畑	10a	自家菜園
施設	"	10a	加工用長茄子
	繁殖豚舎	145㎡	
	肥育豚舎	215㎡	
	堆肥舎	33㎡	
機械器具	尿溜	10㎡	
	動力ふん霧機	1台	
	飼料攪拌機	1台	400kg
	トラクター3tps	1台	3人共同
	電動複写機	1台	Y.P.C備品
飼養規模	軽自動車	1台	
	種雄豚	2頭	デュロック,ハンブシャー
	繁殖母豚	23頭	
	繁殖育成豚	頭	

5. 経営目標

1. 生産性の向上と生産コストの引下げに努める。
2. 繁殖成績(量)と上物率(質)のバランスの取れた経営内容にする。
3. 記帳、記録の徹底により、常に生産コスト成績の把握と個体のチェックに努める。
4. 自己の労働能力、飼育管理技術能力、糞尿の処理能力内での無理のない飼育規模での経営。

さわやかに 健やかに

おいしさいっぱい牛乳で
今日もいきいき

森永ハイクラウン牛乳

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号
☎(02238)4-5181

“加美グリーンで豊かな土づくり”を
(製品届出番号-宮城県第731号)

名称	加美グリーン
成分内容	本品は鶏糞等を高温発酵させたもので、どの作物に使用されてもへい害はありません。この施用により土壌pH8.6が保たれますので土壌改良資剤として最適です。(水分30% N 2.60%-P 6.18%-K 3.19%)
包装	1袋15kg(バラ販売可)で米状のため機械散布可能。
単価	300円/袋(卸売270円) バラ1t 17,000円
製造販売元	加美コンポスト利用組合(加美郡色麻町黒沢字切付70) (TEL 02296(5)-4336)

6. 経営実績

項目	目標	55年	56年	57年	
繁殖部	常時母豚飼養頭数	30頭	14.5	17.0	19.9
	子豚・肥育豚常時頭数	330頭	155	187	221
	年間平均分娩回数	2.0回以上	2.1	2.0	2.3
	1腹当たり哺乳開始頭数	10頭以上	10.8	10.7	11.8
	1腹当たり仕上頭数	9頭以上	10.1	9.8	10.3
	母豚年間子豚仕上頭数	20頭以上	21.2	19.6	23.7
肥育部	肉豚出荷日令	180日	170	175	170
	肉豚出荷体重	110kg	105	107	109
	平均枝肉重量	70kg以上	69.1	70.4	72.2
	枝肉上物割合	70%以上	51.9	56.9	57.8
生産費用と収益	事故率	1.0kg以下	1.1	1.4	0.2
	母豚1頭年間枝肉生産量	1,400kg以上	1,129	1,389	1,454
生産費用と収益	枝肉1kg当たり生産費用	労賃除500円以下		499	455
	枝肉1kg当たり販売額		609	690	690
	平均格落額	30円以内		35	28
	購入飼料平均価格		69.5	71.8	59.2
	所得率	20%以上	21.7	22.0	37.7

7. グループ活動を通じた経営成果

項目	経営成果
1. 配合飼料から自家配合飼料への切り換え	<ul style="list-style-type: none"> a. 飼料費節減 b. 上物率の向上(厚脂, 脂質による格落の減少) c. 個体に合った配合をすべく, 努めたため, 豚の観察がきめ細かく行う様になった。 d. 繁殖成績が向上した。
2. 飼料作物の積極利用(転作田利用)	<ul style="list-style-type: none"> a. 飼料費節減とビタミン, ミネラル等補給。 b. ふん尿の有効利用。ふんは堆肥化して水田, 畑地に撒布し, 地力の増進に努めた。また尿は飼料作物, 野菜に多く利用し, 収量の増大に努めた。 c. 飼料畑(転作田)には夏期デントコーンを作付けし, 青刈給与のほか, 冬季用にホールクローブサイレージにして母豚に給与した。冬作はライ麦, イタリアンを作付け春先の緑餌給与をした。(土地に結びついた養豚経営)
3. 予防衛生対策	<ul style="list-style-type: none"> a. 診療衛生費の節減 ロータリースプレーによる豚舎内, 豚体を1日1回実施した。豚出荷, 入れ替え毎に豚房を水洗→消毒→乾燥→生石灰を塗布した。
4. グループ員との肉豚共同出荷	<ul style="list-style-type: none"> a. 市場性の高い肉豚の生産出荷による有利な販売に努めた。
5. 豚個体管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> a. 優良種豚の確保, 駄豚の整理。 b. データ分析による枝肉格落ち原因の究明(母豚→交配雄豚→子豚→肥育豚→肉豚→枝肉)。母豚のナンバーと同じ耳刻を子豚に切ることにより, 子豚を一見しただけで, 母豚, 種雄豚の能力等を知ることが出来た。

8. 問題点と改善点

項目	改善方向
1. 繁殖豚の品種, 組み合わせが多いため肉豚, 枝肉にも不揃いが見られる。	<ul style="list-style-type: none"> a. 肉豚を均一化するため種豚の品種統一化。 例えば, 大ヨークシャー主体(F₁)×デュロック b. 繁殖素豚の自家育成(大ヨークシャー種によるF₁作り)
2. 枝肉上物率	<ul style="list-style-type: none"> a. 上物割合65~70%を目標に自家配の内容と給与方法を工夫する。 b. 産肉能力の高い種雄豚の導入を検討する。

以上久保養豚場の概要について紹介したが要は豚を飼育するのは人であり飼育する人によって差が出ることはその考え方, 心がけ, 工夫, 努力が如何に大切であるか考える必要がある。今後は豚の好相場にばかり期待せず常に経営の合理化による生産コストの引下げに一層努力するとともに経済的な自家配合飼料内容の検討, 転作田の積極利用による飼料費の節減と作業の省力化, 飼養規模の拡大等により経営内容の充実強化等に努め最終目標に向かって一層堅実な複合養豚経営を確立することと思われる。


(我妻 信義)

主な市場における子牛価格

(品種, 黒毛和種)

市場名	開設月日	性別	取引頭数	総売上額	最高	最低	平均
大 崎 西 部	5/13	♀	162		619,000	117,000	268,222
		♂	177		502,000	69,000	307,988
		計	339	99,731,000			288,985
佐 沼	5/15	♀	172		564,000	90,000	258,209
		♂	262		467,000	82,000	305,160
		計	434	124,364,000			286,553
築 館	5/16	♀	282		579,000	78,000	200,695
		♂	377		461,000	72,000	269,363
		計	659	157,751,000			239,379
川 渡	5/17	♀	129		478,000	81,000	228,163
		♂	156		464,000	138,000	256,551
		計	285	69,455,000			243,702
小 牛 田	5/18	♀	243		555,000	45,000	238,807
		♂	286		494,000	124,000	275,413
		計	529	136,798,000			258,597

畜産物市況の展望


 これからの
畜産経営に思う

豚肉 農水省の予測による6月の全国豚肉出荷頭数は1,496千頭(前年比102%)であるが、日本脳炎、パルボの影響により実質1~2%少ないものと思われる。

輸入豚肉は、米国の生産回復から各月13千t~15千t程度の通関となろう。

一方、需要は賃上げが低調に終り大きな期待は出来ないが、6月以降焼肉需要、外食需要が高まる見込みで、上物基準720~740円の市況展開か。

牛肉 和牛の出荷頭数は、6月27.8千頭、7月31.4千頭(前年比4~6%増)程度と予想される。乳用牛雌は、前年比を若干上回り、6月37千頭、7月40千頭と予想され、成牛全体では前年同月比微増となると思われる。

輸入牛肉の放出量は、「肉の日」設定により増える見込みである。

需要は、連休の出量増等の要因も加わり、和牛上物を除きツリ安基調が予測され、和牛(去)「上」2,100円、「中」1,750円、乳用牛「中」1,250円中心の市況展開か。

食鳥 6月の出荷見通しは、5,796万羽(前年同月比104%)で供給過剰感が強い。

需要は、例年程度の量は期待できるが好材料はない。全農相場で、と体特大260円、正肉560円前後と予想され、相当弱含みの市況推移か。

鶏卵 6月は梅雨入りによる産卵率の低下等で出荷量は漸減するが、ここ数年6月の市場入荷量はいずれも5月を上回り今年も同様の推移と思われる。

一方、需要は伸び悩み、M基準210~220円前後か。

飼料 飼料穀物相場は、産地国における在庫量が水準のため安値安定で推移していたが、米国が1月に新農業政策「現物補償付減反制度」を発表以降高騰している。

一方、外国為替は当面現状の展開が予想される。以上の情勢から円高の好材料を穀物相場高騰が大幅に上廻る状況にあることから、配合飼料の価格見通しは、7~12月は値上げ必至の予想が業界の一般的な見方です。なお、価格改定内容及び配合飼料価格安定基金補填の有無については、6月中旬以降になる予定です。

(宮城県経済連 食肉養鶏課 桜井)
" 飼料課 石井)



昨年異状天候で水稻の収量は91に落ちた。冷害気象は今年だけで来年は大丈夫豊作であろうと安易に考えて来た稲作りがこうも3年連続して不作では根本的に見直す必要があると云うものである。そもそも稲作は従来、毎年のように好天気に恵まれ化学肥料を中心に除草剤、病虫害防除などに力点をあげば専業、兼業農家にかかわらず平年作は常に確保できたし、その上機械化によって耕耘、田植、刈取り、脱穀など勞せずして経営できる稲作りに変化してしまっただのである。

水田耕起は殆んど10糎程度の深さと云われている。

牛馬耕時代は20糎以上で当然すき込み量も多く今日の2倍以上は施肥されている。そこで最近はこちら土作りの一環として秋起し春起しの2回起しを励行し、それに堆肥の施肥を呼びかけ10アール当り1トンの投入を声を大にして指導している。昔から「家畜なければ農業なし」と云われ非常に飛躍した教訓とも思われるがじっくりこの言葉をかみしめて見るこの頃である。

そこで考えられることは概して堆肥は糞の腐熟したもの、厩肥は家畜のふん尿と敷料の腐熟したものに区分けしてみる。そしてその使い方は堆肥は水田に、厩肥は畑地、園芸などに主に使用されている。これから考えると水田と家畜との係わりは皆んなが声を大にしているほど結びつきがうすい事を発見する。又この様な状況の中において畜産農家の方々は当然乍ら我が田圃に施肥するが、特に昨年の冷害にはこの厩肥が穂肥として相乗効果を発揮し1~2俵の増収につながった事はおわりの通りである。こんなに良いことが解っているながら無畜農家の方々が厩肥の水田利用をしたがらないのか、活用しないのか皆んなで考えて見る必要があるはしないか。堆肥にしる、厩肥にしるこれはそもそも土壌改良的な基肥である。多少は施肥設計特に化学肥料の数量を変える必要はあろうが基肥と云う範囲の中で充分検討される事が大切と思う。そして完熟厩肥の供給、良質厩肥の施用が無畜農家、そして今の水田から求められている事を知ってほしい。無責任な厩肥の供給はこれからの畜産推進にプラスとはならないと思う。

今年は稲作りを初め畑地、施設園芸など土の大切さを、そして土が農業経営を左右する事を知りつつある。

多分今年の秋以降は堆肥が不足するであろう。こんな時完熟厩肥の限りない水田施用によって水稻の安定多収獲が実現し、地域農業の再編成の中核的リーダーとなって畜産農家が発展されることを望みたい。20年、30年後の土地利用型畜産経営を目ざして!

(宮城県農政部次長 鹿又 久雄)

昭和57年牛豚枝肉格付状況

宮城県畜産課

食肉流通の現状は、肉畜取引形態の変化により生体取引から枝肉取引へと移行するに伴って食肉中央卸売市場並びに地方指定市場への上場頭数が増加し、さらに最近においては、産地食肉センターの活用等産地処理が増加している。

このような流通の変革に対応して食肉の需給と価格の安定並びに流通の近代化を図る必要から昭和36年に「牛豚枝肉取引規格」が実施されており本県において

も仙台中央卸売市場、米山の食肉センターの2ヶ所で実施され57年の格付状況は下記のとおりである。

1. 牛

本県の57年(1月~12月)の出荷頭数は、37,358頭(前年対比101%)そのうち格付頭数は、30,777頭で格付率82.4%全国平均の47.1%を大幅に上回っている。

また規格等級においては、上物率が17%と全国平均8.8%を大幅に上回っている。

表-1. 牛枝肉格付状況

	出荷頭数		格付頭数		格付率		特選		極上		上		中		並		等外	
	56	57	56	57	56	57	56	57	56	57	56	57	56	57	56	57	56	57
全国	1,321,689	1,355,894	601,789	639,241	45.5%	47.1%	0.5%	0.5%	1.7%	1.5%	7.6%	6.8%	41.5%	42.4%	35.8%	37.4%	12.9%	11.5%
東北	178,512	174,867	118,517	124,771	66.4%	71.4%	1.2%	0.9%	2.5%	2.5%	11.5%	10.5%	40.2%	43.3%	33.2%	31.9%	11.4%	10.9%
宮城	36,993	※ 37,358	30,348	30,777	82.0%	※82.4%	1.5%	1.4%	2.7%	3.0%	13.4%	12.6%	42.6%	43.0%	28.8%	28.7%	11.0%	11.3%

※ 概数

2. 豚

本県の57年(1~12月)の出荷頭数は、464,070頭(前年対比99%)そのうち格付頭数は320,706頭で格付率69.1%全国平均の47.3%を大幅に上回っている。

また規格等級においては、上物率が37.8%と前年を2%程上っているものの全国平均の42.6%には及ばな

い状況である。

本県の対応策として57年から優良系統豚造成推進事業を行っており近い将来かなりの期待ができるものと思われる。

(肉畜係・小野寺)

表-2. 豚枝肉格付状況

	出荷頭数		格付頭数		格付率		極上		上		中		並		等外	
	56	57	56	57	56	57	56	57	56	57	56	57	56	57	56	57
全国	18,708,979	19,106,432	8,328,140	9,040,059	44.5%	47.3%	0.3%	0.4%	40.0%	42.2%	40.7%	39.4%	13.5%	12.5%	5.5%	5.4%
東北	2,662,746	2,716,447	1,764,859	1,864,482	66.3%	68.6%	0.2%	0.4%	40.0%	41.7%	40.8%	40.1%	14.1%	12.8%	4.9%	5.0%
宮城	467,525	※ 464,070	291,669	320,706	62.4%	※69.1%	0.2%	0.4%	35.1%	37.4%	45.6%	43.8%	14.1%	13.0%	4.9%	5.3%

※ 概数

※ あなたも作りませんか ※

「牛乳料理」

残りもののパンで作ったポタージュ

材料(4人分)

残りもののパン.....80g	固形ブイオン.....1コ半
玉ねぎ.....大1	牛乳.....1カップ
セロリ.....1/2本	ナツメグ.....少々
にんにく.....1片	クルトン.....少々
生クリーム...1/2カップ	塩.....少々
バター.....50g	こしょう.....少々
水.....4カップ	

作り方

- 鍋にバター25gを溶かし、玉ねぎ・セロリ・にんにくの薄切りを炒め、水・コンソメを加えアクを除きながら、15分弱火で煮こむ。塩・こしょう・ナツメグで味を整え、パンを加え、ひと煮たちさせる。
- ミキサーにかけて、鍋に戻し、牛乳・生クリーム・残りのバターを加え、クルトンを浮身とする。

◎美と健康にしほりたての

宮城県産牛乳を飲みましょう。

宮城県牛乳普及協会

川柳

畜産課

山木たみ

小回りがきいて

女房の丸い鼻

時計台女房を待つ

あほらしさ